

★★

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>をご覧ください。

★★

- ◎ ☆鳥獣による農作物等の被害の防止に係る電気さく施設における安全対策について
- ◎ 【農林水産技術会議事務局からのお知らせ】
- ◎ ☆農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ
- ◎ 【施策情報】
- ◎ ☆「平成27年度 病虫害発生予報第6号」の発表について
- ◎ ☆コメの安全性向上対策について
- ◎ ☆「優良事例ポータルサイト～現場の知恵と汗と勇気～」の開設について
- ◎ ☆農業気象ポータルサイトの開設について
- ◎ ☆「平成26年地球温暖化影響調査レポート」を公表しました
- ◎ ☆農業の未来をつくる女性活躍経営体100選
（“WAP100”）公募のお知らせ
- ◎ 【研修会のお知らせ】
- ◎ ☆株式会社パソナ農援隊主催「経営指導力実践研修会」及び「農業メンター実践研修会」のご案内

ページ (1)

策を徹底していただきますよう周知いただくとともに、日々の現場活動において、電気柵を見かけた時は、「危険表示」や「漏電遮断器」の設置など安全対策が行われているか、確認いただき、必要に応じて改善指導をしていただきますようお願いいたします。

※詳細については以下のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/anzen_kakuho_20150721.html

※お問い合わせ先

農林水産省 生産局 農産部 農業環境対策課 鳥獣災害対策室
(担当：河野、吉田) (03-3591-4958)

++・…… 農林水産技術会議事務局からのお知らせ ……・++

=====

◆農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ
【農林水産技術会議事務局総務課】

=====

農林水産技術会議事務局では、生産現場を革新する可能性のある成果等を「食と農の研究メールマガジン」で月2回配信しています。
その中から、普及指導員の皆様に産地の課題解決にご活用いただける情報を以下のとおりご紹介いたします。

●地域マッチングフォーラムの開催について

農林水産省では、研究成果の農業現場等への迅速な普及・実用化を促進するため、地域マッチングフォーラムを全国8ブロックで開催しています。
このたび関東地域において以下のとおり開催しますので、生産者、普及指導員の皆様をはじめ、多数のご参加をお待ちしております。

- ・関東地域マッチングフォーラム
日時：9月25日(金曜日) 13時30分～17時30分
場所：JA共済埼玉ビル(埼玉県さいたま市)
テーマ：「施設園芸における天敵利用技術の進展と現場の取り組み」
講演内容
1) 農研機構における天敵利用技術の開発状況
2) 群馬県における天敵利用技術の開発状況
3) 大学・民間における天敵利用の補完技術の開発状況
4) 農業生産法人における天敵利用の状況と課題
5) 栃木県における天敵活用の状況と課題
※総合討論、技術相談あり
参加費無料
事前申込締切：9月16日(水曜日)
[農研機構 中央農業総合研究センター]
<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2015/08/059200.html>

●日本・北米・ハワイの外来昆虫リストを比較

-地域ごとの外来昆虫相の特徴が明らかに-
日本列島、南西諸島、小笠原諸島、北米大陸、ハワイ諸島の5地域の外来昆虫相を比較しました。
全地域を概観したところ、衛生害虫や施設害虫を多く含む分類群が外来昆虫となっていることがわかりました。
小笠原諸島やハワイ諸島などの海洋島は外来昆虫の侵入・定着を招きやすい、北米大陸・ハワイ諸島は生物的防除の目的で導入された外来昆虫が多い、など地域ごとの特徴が明らかになりました。
外来昆虫の全体としての特徴、地域の特色、それぞれを正しく認識することで、国内未侵入害虫の潜在的リスクを評価する際の基礎資料となります。
[農業環境技術研究所]

<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/press/150807/>

●カセットボンベのボタンを燃料とする小型農業機械の安全鑑定

農用トラクター(歩行型)2型式(ホンダFV200、ホンダFFV300)が、初めてカセットボンベのボタンを燃料とする小型農業機械の安全鑑定適合機となりました。
[農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/brain/059082.html

●農業機械安全鑑定適合機7月分(平成27年度第3回目)を公表

-安全な農業機械の普及に向けて-

農研機構生研センターでは「農業機械安全鑑定要領」に基づいた「農業機械安全鑑定」を実施しています。平成27年7月の安全鑑定審議委員会で安全鑑定基準適合と判定された農業機械を公表します。

[農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター]

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/brain/059081.html

●アマゾン熱帯林全域の高精度樹高マップを作成

-衛星データと地上踏査で熱帯林の三次元構造の精度検証に成功-

人工衛星によるレーザー計測結果と画像からアマゾン全域の高精度樹高マップを作成しました。

約800地点で行った10万本以上の樹木の野外調査の結果を使って検証を行いました。

熱帯林の炭素動態観測の基礎を構築しました。

[森林総合研究所]

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2015/20150805/index.html>

●“人類最古の農業”栽培オオムギの起源を解明

-ムギ類の品種改良の効率を加速化-

実が落ちずに収穫できるオオムギ(栽培オオムギ)の起源を探索。欧州等(西)に分布する栽培オオムギが約1万年前に南レバント(イスラエル)で突然変異した子孫で、日本等(東)に分布する栽培オオムギがその後北レバント(北西シリアから南東トルコ)で起きた別の突然変異の子孫であることを世界で初めて突き止めました。“人類最古の農業”は、突然変異が起きたオオムギを発見し、栽培したことからはじまったと考えられます。

南北レバントで別々に生まれた栽培オオムギの子孫は互いに性質が異なっています。今後、それぞれの子孫の品種グループにない性質を積極的に交配することで、多様性が生まれるなど、品種改良の効率が加速すると大いに期待されます。

[農業生物資源研究所]

<http://www.nias.affrc.go.jp/press/2015/20150729/>

●『幼若ホルモン』フリーのカイコを作出

-安全な農薬開発に有効な遺伝子を特定-

昆虫の脱皮と変態に関わる幼若ホルモンの阻害剤は農薬の有力候補ですが、幼若ホルモンは不安定で解析が難しく、その生合成や働きに関わるタンパク質についての情報は不十分でした。

今回、幼若ホルモンの合成酵素タンパク質の一つと受容体タンパク質の働きを止めたカイコを、それぞれ作出したところ、最大の食害をもたらす終齢幼虫になる前に死にました。

カイコと共通点が多いチョウ目害虫のこれらのタンパク質の働きを抑えることにより、幼虫による食害を防ぐ、新たな農薬の開発を行っています。

[農業生物資源研究所]

http://www.nias.affrc.go.jp/press/2015/20150717_2/

●カドミウム汚染水田浄化専用のカドミウム高吸収イネ「ファイレメCD1号」を開発

カドミウムで汚染された水田の浄化に適するイネ新品種「ファイレメCD1号」を育成し、品種登録出願しました。

「ファイレメCD1号」は、カドミウムをよく吸収する外国のイネ品種に、もみが落ちにくく倒れにくい性質を付与した、実用的なカドミウム高吸収イネです。

日本国内の食用イネとは明確に識別でき、栽培が容易な環境浄化植物として利用できます。

[農業環境技術研究所、農業生物資源研究所]

<http://www.niaes.affrc.go.jp/techdoc/press/150717/>

●八代海の赤潮発生と気象との関係を明らかにしました

八代海でのシャットネラ赤潮の発生には、冬季から春季の気温と梅雨入り時期が関係していることを見出しました。

赤潮発生年は、2月から4月の平均気温(アメダス八代)が高いか、九州南部の梅雨入りが遅い傾向があり、ほとんどの大規模発生は両方の条件が重なる年に起こっていました。

[水産総合研究センター]

http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr27/20150716_1/index.html

○「食と農の研究メールマガジン」についてのお問い合わせ先

農林水産技術会議事務局 総務課(担当:吉田)(03-3502-7407)

※上記の品種・技術についての内容は、各機関に直接お問い合わせ願います。

++..... 施策情報 ++

=====

◆「平成27年度 病害虫発生予報第6号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、平成27年8月18日(火)付けで、向こう1か月の農作物の病害虫発生動向や防除方法について「病害虫発生予報第6号」を発表しました。

水稻では、イネいもち病や斑点米カメムシ類、紋枯病等の発生が多く、特に葉いもちが多発している地域では、穂いもちへの移行が懸念されます。また、トビイロウンカの飛来・発生が確認されている九州及び四国、中国、近畿、東海、関東の一部地域では、急速に個体数が増加し、坪枯れ等の被害が生じるおそれがあります。野菜では、アブラムシ類やタバコガ類等が多発し、果樹では、カメムシ類やハダニ類、シンクイムシ類等の多発することが懸念されます。

これら病害虫の発生については、天候の推移に留意するとともに、ほ場の観察をきめ細かく行い、早期発見及び適時適切な防除に努めることが重要です。

普及指導員の皆様におかれましては、病害虫防除所との連携を密にしながら、気象情報及び地域の病害虫の発生動向を把握し、各ほ場での防除が確実に実施されるよう御指導をお願いします。

その他、詳細な情報については、下記URLから御確認いただき、各県の発表する病害虫発生予察情報と併せて御利用ください。

※「平成27年度病害虫発生予報第6号」の発表について(8月18日付け農林水産省プレスリリース)

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/150818.html>

※過去の病害虫発生予報についてはこちら

http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

※「日照不足及び長雨並びに夏台風の接近及び通過に伴う農作物等の被害の防止に向けた技術指導の徹底について」(7月13日付け農林水産省プレスリリース)

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/saigai/150713.html>

※お問い合わせ先 消費・安全局 植物防疫課（担当：春日井、石部）
（03-3502-3382）

=====

◆コメの安全性向上対策について 【消費・安全局農産安全管理課】

=====

コメを収穫後に速やかに乾燥しなかったり、気温や湿度が高い場所で乾燥、貯蔵したりすると、コメにカビが発生してしまいます。乾燥調製施設や設備内の塵埃には多量のカビが存在し、そのなかには、カビ毒（カビによって作られる天然の化学物質のうち人や家畜に有害な作用を示すもの）を作るものも確認されています。また、過去には、不適切な管理によるごく小規模な国産米のカビ毒汚染も発生しています。

生産者が安全性と品質が高いコメを消費者に供給するには、収穫から出荷までの間、コメを適切に乾燥調製、貯蔵することも重要です。農林水産省は、自らコメの乾燥調製、貯蔵、出荷を行う中小規模の生産者に向けて、乾燥調製や貯蔵段階でコメにカビを生育させないための管理点をまとめた「米のカビ汚染防止のための管理ガイドライン」を作り、その取組の実践を進めています。

普及指導員の皆様におかれましても、コメの安全性等を向上させるため、生産者へ、乾燥調製を行う前や使用後の施設・設備の清掃、カビが生育しにくい水分までの収穫後の速やかな乾燥、適切な貯蔵中の管理等をご指導いただき、本ガイドラインの取組の推進にご協力いただきますようお願いいたします。

※ガイドラインの詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/kabidoku/

【お問い合わせ先】
農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 生産安全班（担当：須永）
直通電話番号：03-3592-0306

=====

◆「優良事例ポータルサイト ～現場の知恵と汗と勇気～」の開設について 【大臣官房政策課・広報室】

=====

農林水産省では、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村が知恵と工夫により行う様々な取組を、ニーズに応じたきめ細やかな施策により支援しています。

こういった取組の中には、優良事例や先進的な取組がいくつも見られる中、これらをモデルとして全国に展開していくこと（横展開）が重要です。

この横展開に当たっては、優良事例の表彰や、シンポジウム等における事例発表、事例集の作成など、これまでも様々な機会や媒体を通じて広く情報発信が行われてきたところですが、この度、優良事例等へのアクセス向上、更なる発信力強化を図るため、農林水産省ホームページ内に、様々な優良事例等を紹介する優良事例ポータルサイトを開設することとしました。

普及事業の関係者の方々におかれましても、業務の参考にさせていただくとともに、農業者や地域の方々へも広くご紹介していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

優良事例ポータルサイト～現場の知恵と汗と勇気～
http://www.maff.go.jp/j/kanbo/yuryo_jirei/index.html

※お問い合わせ先
農林水産省 大臣官房 政策課（担当：山本）
（03-3502-8448）
農林水産省 大臣官房 総務課広報室（担当：仲村）
（03-3502-5594）

◆農業気象ポータルサイトの開設について

【大臣官房政策課】

農林水産省と気象庁が共同で、農業生産活動に役立つ気象情報等を集めたポータルサイトを作成し、7月2日より公開しています。

ポータルサイトでは、農作業を計画する際に役立つ気温、日照、降雨、風などの予報や過去の気象データ等をまとめた「営農に役立つ気象情報」と、降水、雷、竜巻などの地域の状況が一目でわかるレーダー・ナウキャストなどの情報をまとめた「屋外において身を守るための知識や気象情報」を提供しています。

普及指導員やJA職員等の農業関係者のほか、一般の農業従事者の方々にパソコンやタブレット端末、スマートフォンで活用いただけます。

普及指導員の皆様におかれましては、農業気象ポータルサイトについてJAや農業者等に広くお知らせ下さいますよう、よろしくお願いいたします。

農業気象ポータルサイト

<http://www.jma.go.jp/jma/ki-shou/nougyou/nougyou.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術調整班（担当：谷村）

（03-3502-5524）

◆「平成26年地球温暖化影響調査レポート」を公表しました

【生産局農産部農業環境対策課】

農林水産省では、平成26年1月～12月を調査対象期間とした地球温暖化に伴う農業生産への影響に関する実態調査を実施し、「平成26年地球温暖化影響調査レポート」として取りまとめ、公表しました。

実態調査にご協力いただいた各都道府県の皆様には感謝申し上げます。

今回のレポートは、特集として平成23年～26年に気象災害を受けた地域において、被害の回避・軽減に有効であった技術、施設、営農指導等の取組事例を掲載しております。

高温障害等の影響が顕在化している生産現場では適応策等に取り組まれているところですが、更なる普及・推進が必要と考えており、普及指導員の皆様には、日々の普及指導活動にレポートをご活用いただければと思います。

※レポート本体は以下のページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/pdf/h26_ondanka_report.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 生産局 農産部 農業環境対策課（担当：西、宇佐美）

（03-3502-5956）

◆農業の未来をつくる女性活躍経営体100選（“WAP100”※）公募のお知らせ（9月4日（金）17時必着）

【経営局就農・女性課】

今年度の農林水産省補助事業「輝く女性農業経営者育成事業」により、公益社団法人日本農業法人協会が、女性活躍に向けて先進的な取組を実践している農業経営体を「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」（“WAP100”）として選定し、表彰を行います。

農業の未来をつくる女性活躍経営体とは、（1）女性の活躍を推進する各種の取組や環境整備を実施しており、（2）経営上の成果が現れている農業経営体を指します。農畜産物の生産の事業を行い、女性の活躍を推進している農業経営体であれば、法人・個人を問わず応募できますので、是非積極的に応募いただくよう働きかけをお願いします。

詳細・応募方法は、「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」ホームページをご覧ください。
<http://hojin.or.jp/standard/100/>

※WAP100（ワップ100）とは、本表彰の愛称です。「農業経営（体）における女性の積極的な参画」の英訳「Women's Active Participation in Agricultural Management」から名付たものです。
※本年度は30経営体程度を選定、表彰する予定です。

◆◇お問い合わせ先◇◆

公益社団法人 日本農業法人協会「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」事務局

担当：岸本・古澤

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル1 階

TEL：03-6268-9500 FAX：03-3237-6811 メール：wap100@hojin.or.jp

受付時間：平日9:30-17:00（土日祝を除く）

※本記事に関するお問い合わせ先

農林水産省経営局就農・女性課 女性・高齢者活動推進室（千葉、鈴木）

TEL:03-3502-6600

＋＋・…… 研修会のお知らせ ……・＋＋

＝＝＝
◆☆株式会社パソナ農援隊主催「経営指導力実践研修会」及び「農業メンター実践研修会」のご案内 【経営局就農・女性課】
＝＝＝

株式会社パソナ農援隊では、就農希望者や新規就農者を指導する皆様を対象として、経営指導力とメンター能力（相手のモチベーションを高める技術）を向上させるための2種類の集合研修を全国各地で開催しています。

「経営指導力実践研修会」では、ゲームを使った経営の模擬体験を通じて経営構想力を養います。さらに、最新の農業経営分析や、指導法を習得します。

「農業メンター実践研修会」では、まず、メンターとなる本研修の受講生自身が持っている知識、スキル、経験、人脈の棚卸しをした後、これらを活用したメンターとしての支援スキルを習得します。

それぞれの研修後には、現場に戻った受講生が一定期間の指導実践をした上で、改めて悩みや課題を持ち寄り、指導を改善していくための「ブラッシュアップ研修」も行われ、スキルの確実な定着を図ります。

いずれも参加費は無料となっておりますので、この機会に是非普及指導員の皆様もご参加下さい。

各地域の開催日程等、詳しい内容については問い合わせ先URLをご参照ください（※本研修は、農林水産省の技術習得支援事業により支援しています。）。

<問い合わせ先>

株式会社 パソナ農援隊（担当：佐藤） TEL：03-6734-1260

（経営指導力実践研修会）<http://www.pasona-nouentai.co.jp/keieishidou>

（農業メンター実践研修会）<http://www.pasona-nouentai.co.jp/nougyou-mentor>

<農林水産省の問い合わせ先>

農林水産省経営局就農・女性課 土屋（TEL：03-6744-2160）

編集後記

先日、普及指導員資格試験（筆記）が行われました。受験生の皆さん、お疲れ様でした！筆者もある受験場で試験監督を務めましたが、目の前にメルマガの

登録者もしくは将来登録してくださる方がいると思うと感慨深かったです。
今後とも、普及の現場に役立つ情報をお届けしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします！
◎ 編集担当 H ◎

※メルマガの配信登録はこちら

※バックナンバーはこちら

※PDF形式のファイルの閲覧について

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。